糖酸長會議は今回が第一回 機酸長會議は今回が第一回 大會であり全國各義勇奉公 することになつてゐる、義 することになつてゐる、義

入 子によつて組織されてゐる 管 だけに本會議を契機として 協和運動の躍進が期待され でゐる、會議は開會の辭、 國務總理訓辭、中央本部長 調序で行はれる 本中央本部指示事項 一、除員の素質 上、訓練、指導の內容方 法の確立

△中央本部連絡事項

協和會中央本部では創立八の前衛をもつて組織されての前衛をもつて組織されてのる協和養男率公隊長會議

義勇奉公總隊長第

(日 曜 木)

(-)

迎皇

「南支戦線にてわが勇士

に至った

【南寧廿三日穀飯通】去る七月十五日寧明においてわた崇善兵團附中 尉 談 粹玉た崇善兵團附中 尉 談 粹玉 (二五) のその後の取調べの結果次の如く廣西軍の近崎は敷ひ難い類勢の中に鳴

であり軍事的には蔣介石 かれ僅かに残つてゐる六 を子の中心を失い完全に だ、一句と版西を軍の特殊 である、事變前までは 一次の中心を失い完全に たって西南ルートを保持 である、事變前までは 一次の中心を失い完全に が、方面の地震西軍は佛印國 一次の中心を失い完全に だ、一次の中心を失い完全に が、一次の中心を失い完全に であり軍事的には 一次の中心を失い完全に であり軍事的には 一次の中心を失い完全に したの中心を失い完全に したの中心を失い完全に したの中心を失い完全に したの中心を失い完全に したの中心を失い完全に したの中心を失い完全に したの中心を失い完全に したの中心を失い完全に したの中心を失い完全に したの神の地震 したの中心を失い完全に したの中心を失い完全に したの中心を失い完全に したの中心を失い完全に したの中心を失いに したの中心を失います。 これが は、 これ

白崇禧の威信地に墜

による外來物資輸入の激減 による外來物資輸入の激減 によりこの過量の敵大軍は (全給料の如きは去る二月の 大軍が集結した結果現地額 では狭い地域で十數個師の 大軍が集結した結果現地額 による相マッは盡きて逃 に表は日神しに激増し酸意 は喪失し折角出撃を命ぜら

敞匪を掃道

臨河を猛爆

0

戦意喪

2

職に反映し重慶政権の實質 職に反映し重慶政権の實質

京才に至っ.

日匹十二月七 金告價紙

發行所 印編發 人人人 越波符条 越 行月月 二一十一 円円 五五五 十十 銭銭 銭円 一新聞配

の農相正式受諦により近衛 市に参内、天皇陛下に拜謁 中に参内、天皇陛下に拜謁 下に親任式を執り行はむら

安倍警視總監 留任に決定 「東京愛國通」安井內相は サ三日見玉前内相との事務 引繼を終了後直ちに內務首 引繼を終了後直ちに內務首 高端表提出中の安倍響視總監 解表提出中の安倍響視總監 にそれぞれ留任を露請したが山崎警保局長に官邸で個別にそれぞれ留任を露請したが山崎警保局長は

四日の閣議に附議正式決定 縣知事留岡幸夫氏に決定計縣知事留岡幸夫氏に決定計 縣間地方局長の內務

本の第一常手として補助整 をの第一常手として補助整 をの第一常手として補助整 を変渉中である、同様正二、三週間 に出席しまで、一部の資料を関かった。 を変渉中である、同様によいである、同様に当時を要求が、では一方の所に要求が、 を変が中である、同様に表述に、三週間である。 を変が中である、同様に表述に、三週間である。 を変が中である、同様に表述に、三週間である。 に出席した。 を変が中である、同様に表述が、 を変が中である、同様に表述が、 を変にない。 を変にない。 を変にない。 を変にない。 を変にない。 を変にない。 を変にない。 を変にない。 を変した。 を変にない。 を変した。 を変した。 を変にない。 を変した。 を変にない。 を変した。 を変した。 を変にない。 を変した。 を変した。 を変した。 を変にない。 を変した。 を変した。 を変した。 を変した。 を変した。 を変に、 を変した。 を変した。

地政總局官制

一、地政總局官制中改正の一、地政總局官制中改正の

軍

春

季

爆擊

(n)滿洲石炭液化研究 所第二回拂込金 所第二回拂込金

であり、資材、資金とは看取されるとは看取されるであり、資材、資金とは看取されるところであり、資材、資金とであららいであり、資材、資金とであららいであららこととができる。不要の産業のであららこととができる。不要の産業のであららこととができる。不要の産業のであるところでありません。 であり、資金の産業のであるところでありません。 であり、資金のであり、資金に終て冗費 であり、資金のでありまされるところであり、であり、であり、資金に終て冗費 であり、資金のであり、であり、資金のであり、であり、資金のであり、できない。

通」ハリフアツクス外相の 和平動告拒否の演説に對し ドイツはいよいよ實力姿動 によつて英帝國との間に雌 はを決することへなつたが イングランド、スコツトラ イングランド、スコツトラ

は、よびカーノの国際がウエールズ西南岸のペースを表したことは注
は、もの入如くである。 サーカン はんの入如くである はんの入如くである

施設、飛行場などを爆撃がランド兩地方一帶の港

おいて米海軍は太平、大西

民政黨

た、即ちウェールズ西南岸 のベンブローグ軍池をはじ のベンブローグ軍池をはじ のアバーデーン等の各地に のアバーデーン等の各地に

日より三日間開催に決定 日より三日間開催に決定 (東京滎國通) 大阪日端經 (東京滎國通) 大阪日端經 (東京滎國通) 大阪日端經

決議したものは が、廿三日まで が、廿三日まで が、廿三日まで

事 往來

着 京 (本天盛京時代長) 二十四日來京ヤ

安典

新

を帰る

◆ 発谷保滅氏(奉天盛京時報社長)二十四日來京ヤマトホテル ・ 本宮山殿氏(皇新滿宏社員) 同大都ホテル ・ 本宮山殿氏(皇新滿宏社員) 同大都ホテル ・ 本宮山殿氏(皇新滿宏社員) 同大都ホテル ・ 大連會社員 ・ 「大連會社員」 同人 ・ 「、第11省省公署) 同 ・ 「、第11省省公署) 同人 ・ 「、第11省省公署) 同人 ・ 「、第11省省公署) 同人 ・ 「、第11省省公署) 同人 ・ 「、第11名(本天スタンダー) 「、11名) 「

業 國產

種

機 が AMK、特種ベアリング製作 ル ル ル

振替大阪九二五八六番

目

**活** 

科科院

歐米ポーラー

ベアリング

大阪市南區 高津四

井小

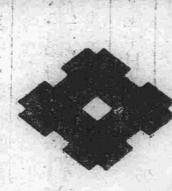
護

事務所

小松法律事務所 電話(3)四七四七番電話(3)四七四七番電話(3)四十六一番電話(3)四十六一番

會社組合設立手續 法律顧問 及鑑定 法律顧問 及鑑定 選

表 影 會



日七十二.....日四十二

ラヤギ階五會場 部樂俱トオフ京新催主

04:187

### 大優左の如き観測が行はれ 大優左の如き観測が行はれ 大優左の如き観測が行はれ 大優左の如き観測が行はれ とられることは明瞭なごとられることは明瞭なごをの関係に於いても動場に於てその融合を表している。 を変な接觸面となつてる。 を変な接觸面となってる。 を変したが、今後の関鍵に於てその融合等でがあららが約束される。 を変している。 を変して、 を変して、

## 合促進

### る統合準備委員會を設置する統合準備委員會を設置するになつた 統合準備委員會を設置することになつた 統合準備委員會は昨年統 合問題が表前化すると同 時に一應設置され委員の 時に一應設置され委員の 時に一應設置され委員の で近く設置され委員の で近く設置され委員の なれず、その儘一旦夢ら れたもので近く設置さる 近く統合調査委員會設置

英外相の和平勸告的

曖拒に

馬 局 聲

は軍事行

を疑聴した以上ドイツも断 を疑聴した以上ドイツも断 を疑聴した以上ドイツも断 を疑聴した以上ドイツも断 をを対した以上ドイツも断 ることあるのみだとしてる ることあるのみだとしてる イツの强硬態度を明かに 

太平、大西

首相に進言

民政黨の永 進言

◆岩井善之助氏 (同)

部氏以下卅一名で薫首腦 部のこれに處する態度は

八關係激

和平問題繞 また外交、黨務の兩委員 路つてゐるといはれる 路つてゐるといはれる 成職別整せり 一、岳州對岸君山方面に於 に可殺き敵匪に對し晝夜 に可殺き敵匪に對し晝夜 に可殺き敵匪に對し晝夜 に可表を加へこれを 

0

• 日

6

ようとするのかようとするのか

**机戦か和平か** 緊急會議を招集 まことに當然にして起る しめざるべからずとの際、 近衛公が率直にこれを語

する後的共産では 大変な事で、 を中心に外交路線では を中心に外交路線では を中心に外交路線では を中心に外交路線では を中心に外交路線では を中心に外交路線で を関係で をでする をでする

【香港二十四日設國通」重 要來電によれば廿二日の國 要來電によれば廿二日の國 政軍首脳部會議を招集する に決定、即日蔣介石の名を 令長官、各一政府主席宛招 電を發した

降そ河きを師の○陸へ 全のに廿急司敵機の○ 機他猛三異。

機能を完全を で一般では一般では一般でで、 で一般でで、 で一般でで、 で一般でで、 で一般でで、 で一般でで、 で一般で、 で一般で、 でで、 のので、 のので、

といお題別に迫でを地々

解が必要なのである 配び耐へることは出来る

脚らかならず 親逸はいつ英國を製ふの

x b y

工 也 皇成监禁任否三丁自一八。果成温泉今里的人一

大阪市東成區原今直和三五製地(電 器 與 78227)

建家家店營業租具是條政 長岡 御注文は是非長岡 網戸こよし障子の 工脈所

▲永野賀成氏 奉天へ ▲京田三郎氏 同 ▲京田三郎氏 同 一本京田三郎氏 同 一本京田三郎氏 同

古くて信用ある店 店門專作製品文法

本日前後を期して全滅一齊 ・にの鐵道愛護デールを實施 ・にの鐵道愛護デールを實施 ・にの鐵道愛護デールを實施

愛護デーク

のできない。

南嶺聖域

0

淨汗

奉

す

でに四萬六千名

を動員

あず

待つばかりになった(穹眞大百年率脱舞踊の猛練習

智を始め明出る。

二十四日付穀令をは

の通洲

百林、牡丹江、奉天、選近繭大使館管下の中學生

鐵道警護隊

四千萬民草の赤誠を捧げる南嶺聖域の浄汗率仕は去る南嶺聖域の浄汗率仕は去る本部長直木動勢率仕除總司令等の手によつて厳かた鍬の人の儀が行けれて以来首都

青少年颶、國防縮人會、滿 素女學校生促、天理教徒な と現在までに延人員三萬六 千名を動員幸仕をつづけて あるほか

江、安東、 (協和分會、義勇奉公臨、 東安、龍安、通化各省の 東安、龍安、通化各省の 東安、龍安、通化各省の 東安、龍安、通化各省の 東安、龍安、通化各省の 東安、龍安、通化各省の 東安、龍安、通代表の 東安、龍安、通代表の 東京、北州、間島、

首都國防婦人會では國防會 一年後二時より理事十三名出 一世會を開催した 一世會を開催した

九杯のベニ

(質 曜 木)

タの補犬主催の軍用犬座

座談會

公會堂

新道路

防温に挺身営ることへない。同議智は二十日間を門事で、終了後はり向ける筈で、終了後はり向ける筈で、終了後はが現底に抵動して事犯の

吉

三笠町を繋

選拔して養成をなすべく動員より見込ある優秀者職大强化のため日系同様

繋ぐ道路として僅かに長春座及び電業新京支店との間に幅員約五尺の小路あるに過ぎない。而もこのいよ本格的に實現を期すこととなつた、即ち市内東二條通と東三條通の中間には吉野町と三笠町を近一帶の明朗化を期しかねて計畫中であつた長春座寄り吉野町と三笠町を繋ぐ道路の新設に對しいよ我等の記念公會堂は今秋竣工を目指し復興工事は着々と進捗しつゝあるが、これが完成に即應して附

の不便を痛感されて楽たのであつたの不便を痛感されて楽たのであつた。のみならず附近一帶は歡樂街として往來繁しく常に交通小路は小便横丁の名ある程不潔極まるもの、のみならず附近一帶は歡樂街として往來繁しく常に交通

次いで本工事は來年度養手するやう希望されてゐるか、この計畫に對し附近住民はも

無償提供することとなりこの程正式に市に請願したに吉野町三丁目より三笠町三丁目裏通り将亭五十鈴前に至る區間を幅員三間の道路この不便を除去しよりと曩に開催した記念公會堂理事會では協議の結果、公會堂敷

しても双手を挙げて養成その實現を希望されてゐる

道愛

來月全滿

製多の英見を育てて来た古 養多の英見を育てて来た古 養多の英見を育てて来た古 を歴史を持つ祝町藤影幼稚 園では、今回日本相撲協會 瀬洲本場所一行四百有餘名 の來京を機に、園長並に保 護者間の製烈な奔走により 局幼稚園内に古式も床しく あった。 世界を揺ぶした純情力士の 金を揺ぶした純情力士の 金を揺ぶした純情力士の

今年は成

吉林名 川祭花火

物の豪華さ

らな豆力士連の争覇戦が展 三時代を整つて起つ玉のや 三時代を整つて起つ玉のや

俵別きが催される筈 的好意に依り絢爛たる土 酸高き大闘安鑿海の自愛

今から駒に撚りをかけてゐ 四十八手の裏表秘術が蓋く され火花を散らさんものと

す(廿五日)

(=)

## 防疫陣を尻目に二十

居者五十餘名を千旱醫院特殊隔攤所へ收容隔離し容旱醫院に收容されたが、再度の發生に慣重を期し同ノ二苦力高秀田(四九)がコレラ容疑患者として千 の疑似か属性か

の有無を調べつゝある。一方防疫當局検査をなすとゝもに特殊隔離者の保菌

寬城子署營內防疫は菱延防止に懸命の活動を複が外工の電域子署管內防疫は菱延防止に懸命の活動を複が、この徹底大防疫庫に恐れをなしてか家財が男子優資源の減少ともなり防疫庫に恐れをなしてか家財が別人の寛城子署管內防疫は菱延防止に懸命の活動を複が上に懸命の活動を複が出る。

### 警察陣强

原氏の進行係により青葉グリル ・ 会二十七名しかもいづれる ・ 熱心なる愛犬家ばかりであった、午後七時閉會、出口 であた。午後七時閉會、出口 でありでありでありてありでありてありでありてありでありてありでありてありてありてありてありてありてあり、 速製講習で刑事も誕生

回初めての試みとして管下企園して首警司法科では今

込あるもの数十名を選拔-水司法刑事の任務遂行に見 水司法刑事の任務遂行に見

見將下

利田氏の血統に付て約四十 海に對して質疑應答あり 大の飼育管理の虎の卷を 大の飼育管理の虎の卷を 大の飼育管理の虎の卷を 大の飼育管理の虎の卷を

因に血統登録に付て一言すべし、目下滿犬にありては ベレ、目下滿犬にありては 刈田氏着任以來鋭意此れが 處理に努力中にして、先づ 血統の明白なるものを第一 位にし逐次整理中の由にて 本年中には明朗化さる」こ とを期待されあり、大回の ざる飼育實験談や、渡邊 見えて賑やかなりき 見えて賑やかなりき 見えて賑やかなりき

もに國技館最高を謳はり

男女川より五寸高く角界

始つで以來第三番目の背高

0)

れる野田三男君こ

中の鏡岩の条川部屋に陽東中の鏡岩の条川部屋に陽東なつたあと折から巡案來満なるが病氣で亡くなったあと折から巡案來満

電阿部中尉の世話で入門、 ・ 學昨年七月角界入りしたば かりだが、舊藩主細川の殿 進とうは背にものを云はせ で今夏場所早くも新序に昇 進してゐる、新京西廣場小 學校を卒業のとき既に五尺 六、七寸あり商業の二年生 六、七寸あり商業の二年生 古にぐんぐん伸びる一方、 ないかと思はれる、新京商 ないかと思はれる、新京商 素時代の恩師岡本先生に聞

陽一さんは目下經濟部に動 陽一さんは目下經濟部に動 務、姉のとし子さんは興農 のよれ、日本のとして何 

4

んす



院 医 利 吉 顯南社韓国東新大・地島大四 中島央中 男大四三三 (3)等

大華鑛業獻金

大郎氏が愛見急を告げると ともに救助に努めてゐるう ち同氏も中毒して倒れたの で大騰ぎとなり、管内より 数出手當を加へた結果杉浦 取出手當を加へた結果杉浦

遺はれてゐる 大同劇團 班重な上棟式を攀行した 一十四日の佳日をトし午後 二十四日の佳日をトし午後 三時半から古式による厳献 神武殿上棟式

藤影幼稚園の可愛い土俵開に

も童

役買つて四股踏む

協和會館で「巡閱使」(檢察 創建では廿六日から四日間 創立四周年記念として大同 官) 丑慕を公演せるのを機官) 丑慕を公演せるのを機官、 一等廿五圓、三等まで)を制定、熱心で優秀な演員を制定、熱心で優秀な演員のたが

総入不可能となった、め市 しつ、ある折柄日本よりの ペニヤ板 ペニヤ板の の一般の数法

干

H

より

三十

日まで

品

特薄京 價御吳 v) 特 が價 . 夏名中 既屋船小 長 特 賣 明 特 1 賣ラ布

紋紗 白生地染代無料奉仕

(無地染)

0

る二十七日午後八時から大 同公堂にて坂西輝信指揮の 下に野外演奏を開催する 曲目は一、肉行進曲「華 やかた謝肉祭」アルフォ ード曲二、序曲「美しき ガラテア」ズッベ曲三、

段に開放することになのたりいよく二十八日から であればこの程修復も終してあた白薬を急いであた白薬

新京

海拉爾忠需塔建設基金獻金を兼ねる催しとて

として早くも物凄い

に相應しい見もの

別れをつたへられて 切れをつたへられて あるが、一行のなか に生粹の新京ッ子力 士が一人加はつてゐ る、それも若冠十七

策の線に沿つて獣肉の代の中の二頭で離乳以来國の中の二頭で離乳以来國

どきそのままに身長 立つ大男」と浪曲も 立つ大男」と浪曲も

タン

もち現在白頭山とと

作案に從事してゐた同所員作案に從事してゐた同所得知製鋼所研究所構內工門昭和製鋼所研究所構內

對良太、高橋鐵次郎、長谷 一部の四人が漏洩ガス中毒

立 は窮地に追ひやられたが、 全業者は吉林同業者と相話 り活路を求めるべく協議を 重れた結果組合を結成し製 重れた結果組合を結成し製 市公署商工科へ願ひ出た、 同科ではその苦衷を察して 組合結成の勞をとることと

行進曲「撒喜」

私達も代用食でさ

0

ネ

h

は

压

屋

院

りに朝夕二回の食事も鯨 方はもう量を少しばかり 方はもう量を少しばかり 一三年で一人前になるといふが他の二頭は去る五月下旬 恋國へ親善のプレゼントとして渡り今度また二頭が八 月上旬新京へ行くことになってアリイ夫妻もさぞ淋し く吼る 應相に代時 ずスツキりしたお櫛上げを致します何卒御利用下さいませ此度斯道の優秀なる技術者二名を増員致しお客様へお待たせせ

X 干海 玉屋 理 髮 院婦人

電話③六二四四番

ライオン君はか

新賞は「ファン 名を 自由無き程御用意致します 自由無き程御用意致します 東京大相撲中茶屋 東京大相撲中茶屋

昌平街附近五十乃至百坪上地を借度し

女中さん夢集神の一次に大学の一次は大部ではずく有給し、三名の方は大部では、一番の漁職を一番の漁職を一番の漁職を一番の漁職を一番の漁職を一番の漁職を一番の漁職を一番の漁職を一番の場合を一番の場合を一番の場合を 藏

なつたが

第一酒の 奥安大路 (奥安病院前)



一、學歷 高女卒以上 若干名一、學歷 高女卒以上 若干名一、年齡 廿歲以上卅歲未滿の內 地人 事務に心得ある方希望者は自維履歷書持多本人來談の事 新京特別市入船町二丁目十九番地 満洲大倉土木珠會社 本 出 張 所 京 出 張 所

女子 事務係採用

1 ....

取目過 に貨回鞍四スいで 公店公山のタでは

で割りませんが私どもなを知りました、大臣のもを知りました、大臣のもを知りました。大臣のもを知りました。大臣のもを知りました。大臣のもを知りませんが私どもな

おんおとが

何かといへば直ぐ問題を法 とゝて、映畫界の訴訟問題 とゝて、映畫界の訴訟問題

画の五七六六

3

二十四日から電都キネマに出演のため二十三日午後一出演のため二十三日午後一時半着あじあで哈瀾濱から 関都入りした東賓スター霧 立のほるさんは近衛新體制立のほるさんとで統員經濟 を一手にあづかる小林一三さんを校長に仰て資源少女さんを校長に仰て資源少女

も一千部賣り切れた。

樣 ××公司通信販賣部先生

商工大臣に

化

短

姉の出征

回回日 田田田

変情深き作家 動が出たら婚約しようと言 をはいる。 変情深の意中の女、彼 変情深まで多い。

樂刊

新阿呆宮

先生への手紙 要る先生が一人の生徒の 或る先生が一人の生徒の 或る先生が一人の生徒の で下さい、前週あなたは こんな宿題を出されました には何時間かかるかりました。 かくには何時間かかるかりました。 かくには何時間かかるかりました。 かった、しかも先生はあの ました、しかも先生はあのよるとお書きになつてぬま

その作家は婚約した、 を自分の書類に案内した、 に言つてなかつたが、あの に言つてなかつたが、あの に言つてなかったが、あの に行つて人が買ふかどうか に行つて人が買ふかどうか に行つて人が買ふかどうか に行つて人が買ふかどうか に行った。 で自分で五百部買って細 で自分で五百部買って細 で自分で五百部買って細 でするた。 を見てみた親持が焦ってそれ でする、本當は双フィアンセ の作家を一つの部屋に連れ な、本當はね、私も毎日本屋 で来たのよ!」 寿内 本日為書で國幣一元をお送り致します、貴公元をお送り致します、貴公元をお送り致します、貴公元をお送りて下さい。 二伸、小生事務繁忙のため上記の國幣一元はお送り出来ません、ただ貴公司は資本もせん、ただ貴公司は資本もせん、ただ貴公司は資本も大きく、社員の方も犠牲的にお働きになつてゐる由、一本位物の数でもないでせらから御心配なく書留で送って下さい右お願ひ迄

職の程を願ひます 追伸、弊部は工作緊張し 居るため上記シャーフィン かありませんでした、濟み ません、先生は見解高明な 方で弊部のこの種の疏忽に 對して御諒解下さることと 深く信じます、以上 受取り下さい、郵便局よりシャル一本お送り 下さい、今後も御愛お送りしますからおお送りしますからお

高雄士

1.20 4 25 7.20 私には夫がある

4.00

4 35

5.44

1.25

廿五日より四季の夢、與三郎吹雪

幡隨院長兵衛 11.30 2.31

ス中 金 道 **電**③ 楽劇 9·05 10·25 ) 六四六五 廿日より廿四日迄 料金六十銭

ある女辨護士の告白 12.00 3.00 5.50 8.50 20日より24日まで日曜は11時より料金一圓均一 秘密

野いばら

岩粽評判記前篇

スポーツ短篇

1.43 4 48 7 53 12 00 2 54 5 59 9 04 12 12 3 17 6 22 9 27 10 17 廿日より廿四日迄 料金八十銭均一

1.35 4.35 7.2)

1.45 4.45 7.45

本 新京丰本文

銀座

いう作衡▼線脚をばのよ觀妹感の演姉も夫さと作のを を表して出る。 にない、明は大きなをして出る。 にない、明は大きなをして出る。 のの形殊や型でで表がれた。 のでで表して出る。 のでで表して出る。 のでで表して出る。 のでで表して出る。 のであるがれた、 をないとにない。 をないとにない。 のの形殊や型でで表して出る。 のであるがれた、 のでで表現では、 ののであるが、 ののである。 のので、 のので 市立響院眼科等院眼科 四3電(日マネキ京新)七一ノ二町祝奉 店支 崩 大 店本

戰時下の自轉車!! 富 4 自 車 ライオ ン自轉車 帝都の"足 に大異變 優秀と堅牢と耐久性で 必ず御滿足を得る

·代理 新京豊樂路三〇二

電話(2)四七六八

朝 2 08 4.50 7.35 短 力 12.00 2.43 5.26 8 09 8 姬 1.10 3.53 6.36 9 19 24日より26日まで料金50セン 空 海のつわもの 狂亂のモンテカルロ

XXXXXXXXX

ユーラ を ツキイの漫響 の 玉 手 箱 11.40 2.23 5.66 7.49 丸 12.35 3.18 6 01 8.44 Buf 新 女性の覺悟第二部 1.07 3.50 6.33 9 16 十九日より廿五日迄 料金一圓

春座 次週 自己の四六

電②一四の五

市場内支店市場内支店 店盟加合組入確京资 菓 製 洋 利 長峰

.10.1

式樣代近 席子椅總 五時 料 北至社日朝道新座鎮 義 造 金 二四二二(3)話電頻義 畫 金







(83)



がつた、なるほど、小なさがった、酢漢の目に狂ひいた、酢薬の目に狂ひい 

各地被式 

花一点式 九九八分五

経営株式 四〇仙〇五一八株 五〇沸へ、

り、何處の間抜け し、何處の間抜け し、何處の間抜け し、何處の間抜け し、何處の間抜け し、何處の間抜け し、何處の間接りか、 とな、橋杭のブラン 此奴は趣同だ、面

天元五元至

!! 開公りよ日七廿





地 麻布 團袋 地地 麻布 團袋 地 新築落成 神料理

カ





野淵昶か又々描く

特

作品



信子

子郎

主演



木

一京 一京 して によが の 味もるしの





情情狂 200 怪生捕 奇活虜 0 2 2 な女な 浦 かのつ 山廣子 妙子 に强た 彩製美 るな貌 愛の 僧清 出作 の元 世女 界師 松太郎 と匠

をの 50%

間 六 時 迄 -

1

ウ

ロシ

キョウ

清高酒級

潇

洲

櫻

新京機屋

商店

茶

奇に猫

な次の

物々皮

語とで

が廻張

取るら

慄因れ

の果た

裡の謎 に風の

綴車三

5 艶味

れ美線

るなが

情怪

緒奇

33

の峠らに 友友久 まのへは 柳和の 、'十女 平九のび。原判 太歌演 郎子 美る心は男は 市森 女之助子 かさ 一大 **浸川筋き** 

貴娘にな 淺歌 方義な世 香川 太紺界 失がが をの辿あ ふ感るる 郎枝 さ激愛浪した情も

ちき撒をひ匂な樣るみ滲に胸 !れ群の姫舞き如の花・すら きつくをとごめひの胸の女乙 篇傷感の春青たせら上浮り 演子玲見江×代記田黑 口山×清 上井



小石樂一章 新期出電



创

閣議を終

閣僚記念撮影

官首 邸相

来ら廿七日午前九時から山 員に會長離明を發表のため 員に曾長離明を發表のため

四次民刑事司法官會議を開 と共に諸法令整備並に未制 定必要法令立法に對する意 定必要法令立法に對する意 見を聽取するため廿五日よ り三日間國務院講堂にて第

機する、同會議には 地方側から全國六高等法 地方側から全國六高等法 地方線整、八區檢察廳、二十 院、二高等檢察廳、二十 院、二高等檢察廳、二十 院、二高等檢察廳、二十 院、一高等檢察廳、二十 院、一高等檢察廳、二十

さきに本部側

のせ處心せ中協理にる

裁判の運用處理に關し滿洲 裁判の運用處理に關し滿洲 ものでこれが歸趨は各方面 より多大の關心を集めてゐ るなほ會議日程は次の通り 本第一日 一、國族に對する 等間係諮問率項に對する。 等間係諮問事項に對する。 等間係諮問事項に對する。 等間係諮問事項に對する。

國債整理基金

追加豫算決定

務長

ら開會

、刑事關係提

二十二国の追加機算を を通過所定の手續きを を通過所定の手續きを

第四次

林省の行政機構も農業團まれ先づ心配はない、農まれ先づ心配はない、農

正式發令として武部六歳氏の内諸をとして武部六歳氏の内諸をとして武部六歳氏の内諸を

**扈等重要機關に全彈命中各所に火災を起さしめて甚大なる損害を興へたり、各部隊は廿四日午後四時卅分長驅成都を初空襲、同市街西南地區敵軍事施** 

て慰闘機十数機と交戰して

敵機二機を確實に撃墜せり

貿易調整協定

往

來

けふ當局談發表

各部隊は廿四日午後四時卅分長驅成都を初空襲、

わが航空部隊小川、

、本攻撃に當り成都上空において、片倉、鈴木、高橋、松山の下、片倉、鈴木、高橋、松山の

に 東京 愛國通 ご

農な考失穀機時る體かだ目主をなれ濟現主

在福密顧問官(各通)等 上 忠造 三土 忠造

包

從二位勵一

武部總務長官

間

全面

的

### 

### 朝 到 【真二十刊夕朝祇本】 科斯定水金件價級 發行所 印編發 刷輯行 特普郵 人人人 水越 內之介 新京日日新聞社 和 波 菜 忠

緊急與

探擇

結果日浦兩國會員とも声問題を採擇、引續き審察

んとするもので、今食料、飼料の増産を

建設

農政研究會總會終る

に實行方策に付て可及的速 後一時散會、これを以て三 後一時散會、これを以て三 行た に変行方策に付て可及的速

を要望する通電を行り関係でき協議の結果

# 大國策の

別催して、一切日午前九時日は二十四日午前九時

、飼料の増産計畫は今後・温の統一强化に關する件・温が一張化に關する件・温が通ずる食

の二點に歸納し日本政に於ける生產機構の整農業の再編成と、滿洲

雅定の護事を終了したが でも具體的實行方策確立 が計畫的に且つ大量送出す が開拓民受納機械の再檢 が開拓民受納機械の再檢 では滿洲関政府に對しては滿 が整備をそれ が整備をそれ が変望することに決定

の送出を圖り未墾地の別の送出を圖り未墾地の別の送出を圖り未墾地の別の送出を圖り未墾地の別の送出を圖り未墾地の別の送出を圖り未墾地の別の送出を圖り未墾地の別の送出を圖り未墾地の別の送出を圖り未墾地の別の送出を画り未墾地の別の送出を画り未墾地の別の送出を画りません。

## きの な 臨 時 閣 議

本テル三百十號室に陣どつ なる武部新總務長官は午後 一時企畫院總裁を訪問、快談 新十分、公式な事務引繼ぎ ではないが躍進満期國の産 ではないが躍進満期國の産

業五ヶ年計事 ではないが がはないが の 大会計事

置その他一切の

て以來米國艦隊の動きけ

島

にこれを決定して内外に登表することとし閣議は零時半散會した、なほ閣議席上基本國策に闢し論議された要點は大體次の如きも企畫院總裁より右試案を説明し各閣僚はいづれも眞劍に論議したがさらに今後の閣議において引續き撿討を加へたうへ可及的速かでこれが試案につき檢討した結果とりあへずその基本大綱を得るに至つたので同日午前十一時より開かれた臨時閣議において星野 するためその基本方針を樹立す 【東京發國通】近衛内閣は外に世界新秩序建設に對應し内に東亞新秩序建設 されを必ず實行に移す。 の大精神に基いた世界平和の確立、國内諸制度の刷新などの重大國策に對しては各國務大臣が意見を 新、科學の振興、戰時經濟の確立に寄興するにあり、このため國内においては强力な國防國家建設に 即ち國策の根本は近衛首相が廿三日夜全國民に向つて行つたラデオ放送中に言明せる皇國の國是は肇 るに決し星野企養院總裁、富田書記官長、 持寄り具體方策を決定して努力するとともに教學の刷製の大理想である八紘一字 日相官邸にお

平まで協議を重ねたが<br />
富分の間連日午前八時半より<br />
首相官邸に<br />
三長官會議を開催して<br />
政策金般につ 三長官會議連日開催 2三長官會議を開催して政策全般について檢討を行ひ成案を急ぐ方針長、村瀬法制局長官は廿四日午前八時半より首相官邸に參集同九時院を中心として立案するに決したので星野企畫院總裁、富田書記官院東京發國通』近衛内閣の政綱政策については廿三日の閣議で企畫

談相農黑石

総務長官正式就任を左の如窓を下に観見、御裁可を経済を終了した依正が、御裁可を経済を終了した依正のでは、一個表面を経済を終了した依正のでは、一個表面を経済を表面を表面を表面を表面を表面を表面を表面を表面を

(東京磅國通】 廿四日帝國 された大海軍擴充計畫の一事 務引 繼完了 日去る十二日上院より回附時任總務長官 通】下院海軍委員會は廿三時任總務長官

部たる港灣設備建設

長はグアム島再武装問題に始に闘する法案に闘し登聴會を開き席上ヴィンソン委員を開き席上ヴィンソン委員 長はグアム島再武裝問

ては猛烈なる反對 \* 豫高手する禮限を求むる 着手する禮限を求むる あらう、但しこれに對 の豫備工事

また日本政府の抗議も考した。 と述べ注目を惹いた、政府はこれを無視するであらう を無視するであらう がアム島の徹底的武装のため諸施設改良は太平洋防備のため職略上絶對重要性を のため職略上絶對重要性を でをり海軍當局は如何なる

抗議無視

日本

併合認めず

メリカ居留民團體たるアメ 上海居留民泣訴反米空氣擡頭に

貫徹に邁進するだらうとい 産婦人科隆

北海道壓總務部長 北海道壓總務部長 岩上夫美雄

ある各獨立政府の外交代表る各獨立政府の外交代

ダ前首相ら 任愛媛縣知事 住愛媛縣知事 任愛媛縣知事 任愛媛縣知事 後藤 耕造 後藤 耕造 人坪 保雄 大坪 保雄 次

赴奉

敗戰の廉で監禁

內務省警保局保安課長 中村敬之進 回歓迎 お電話次第

巨管医 吉野町二丁目平本洋行裏小メラ及公債儲落債券 御相談に應じます 電③三一五二 洋服は特に勉强

盤隊南洋警備 武裝斷 に注目を惹くに至つたがそ の有力都隊は既に廿二日極 税裡に賃珠灣およびラハイ 動したことが廿三日に至り 長数委員 は廿三日膨明を發表リスアニア三國の供りスアニア三國の供養的慇懃であると塩 痛烈にこ 作合は計 内格省異動 [東京 対象音響部の異動 (東京 大阪 ) 大阪 (東京 )

大阪府經濟部長 大阪府經濟部長 上田 誠一

任內務次官 原生省勞働局長 原生省勞働局長 實生省勞働局長 實生省勞働局長 實生省勞働局長 內務省地方局長 義夫 孝夫

版十八百忽 發行所 振替口座大連五五五大連浪遠町一三八

され、また「レコード」に吹き込まれて腹く世に普及されて居る名著で り「支那語講座」として放送し跡くが如き好評を博したものを一册に纏め たもので、「急就篇と」共に初心者絕好最適の数科書として各種學校に採用

大阪屋號書店

斯界の第一人者と云はれて居る著者が、ラデオ了QAK(大連放送局)

對譯音 支那語會話篇

秩父固太郎著 定價九十錢 (英年截二一七頁 送料六錢)

各地書店取次販賣 同印書館

重要國策聲明 满 洲 國

最

新 刊 日滿文版版 |圓五十錢(名三十數)

◆森傳二郎氏(三陽商會社 長)二十四日來京ヤマホ 長)二十四日來京ヤマホ 長)同帝都ホテル 小藤四郎氏(奉天樓被商 同同 同同同日 一村勉氏(福岡土木菜) 同民事人氏、東京著述菜) 同一大連出版業) 同一日 一日、東京著述菜) ◆人保光平氏(北崇豨炭紅 員)同 員)同 員)同 大都:テル 同大都:テル 煙草常務)同 煙草常務)同 小畑耕一氏 大連皮革商) 栗田、卓越 施工、完 壁 式保温セメント煉瓦製造版賣

聞

の削減を加へ總額二億八百 億五千萬圓、四線宮座借越一二千七百萬圓、合作社預金一千 一百萬圓、后作社預金一千 一百萬圓、に壓縮する所ありよつて農村放出資金の抑 りよつて農村放出資金の抑 中央會の貸付調整方針は 中央會の貸付調整方針は

(日 電 木)

現在對日國際收支尻の強力なる聯陽を有して

、物價高に於て昨年に比 ・物價高に於て昨年に比 ・特益の減達及び出廻り ・大調の物價高による野日物資 ・製の物價高による吸引 ・製の物價高による吸引 ・大野日支拂額の膨 ・大野日支拂額の膨

も関債増設による物資の裏 マファレ 引進の危険よりその 限界あり、而も日圓資金に おいて窮屈化をまぬかれざ る事情の下において関民経 産擴充計畫の遂行を强行す るがためには農産物の増産 を確保しこれが輸出を促進 なつたものである

與農

合作社

貸

9

調整

歐洲

反

產對

策を中

大戦の影響による一

入滿苦力の送金乃至携

### も大きな問題は何である を考へてみたい。協和 を考へてみたい。協和 を書はれ識かれるだけで ち言はれ識かれるだけで あつで、實際に於いて果 してその實がどれだけに たて表をなるであららか れん(はこの點に於い て大きな不滿を持たざる を得ないのである。たと

1

出促進を强行

大がその後時を経ること 大がその後時を経ること の現實は、常初のブラン とはあまりにも離れ過ぎ であるのではなからうか 一昨年頃からの協和會は その形を整へるといふこ その形を整へるといふこ とに大いに努め來つた観 れも必要なことではあつ たらう。しかしそのマイ たらう。しかしそのマイ

のために力を致しつつあのである。また他の地位のである。また他の地位のである。また他の地位のである。また他の地位のである。 いふことで める。 だがよ のる。 だがよ 大事なためつた とのや主

間ち政府は興農政策の重要期ち政府は興農政策の重要地に鑑み合作社事業資金の性に鑑み合作社事業資金の性に鑑み合作社事業資金の多額の滯留を見てあるので購買力の規制、物價場整別で設定を設定したもので場別が関係を期したものである。 大月末中央會賃出及び預金融の成果確保を期したものである。 大月末中央會賃出及び預金融の成果確保を期したものである。 大月末中央會賃出及び預金融の成果確保を期したものである。 大月末中央會賃出及び預金融組合、金融組合、金融自合作金融組合、金融自合作品。

傾向を辿つてゐるが、勞働 者浮動防止、就業上の不安 を除去し以て勞働力の恒久 的維持强化並に彼等の安居 樂業を根本目的として勞働 着保護に關する諮制度を整

建労働者の数は逐年増加の流洲の北邊地帯における土

勞務司乘出す

灣新京 賽馬

商况

後遍場日

各地株式市况

次一第季秋 

大連株式 (短期)

心となり鋭意これが立案中 定すべく民生部勢務司が中 定すべく民生部勢務司が中 な保護を加ふるため近く土も滑過さ勝ちであつ た土も滑過さ勝ちであつ た土 ため近く土

手形交換高三四

六三番信

務

事

に成立案中

01大仪

IL KNIL HOE I

**新於主 3電 三町盆三** 

看板 紫

経典が表現

**解理如小小一般法律事務** 

御營案門業





ととなった、而して満銭の 内地資本導入は昭和製鋼株 の護渡問題が解決すれば本 年度に頗る順調に行はれる 見込であるが、前記事情か らして多少の事業費騰縮は

にので同會議で種々協議の たる鹽、砂糖等か滿拓により充分なる配給を受けること不可能となり從つて畜産と不可能となり從つて畜産と不可能となり從つて畜産と不可能となり、一個滑となったので同會議で種々協議の

地よく

電話③五十八







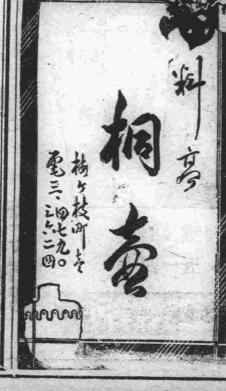






所

**荷 焉 及 市 內 運 搬、引越荷物、人 夫 供 齡、無陸渾浜及運送取扱、通關代鄉、倉庫及金融。** 新京富士町二丁目二十七番地 國際運輸縣新京支店 委 託 寶 買









来る。そこでは、協和會 が政府の精神的母體であ が政府の精神的母體であ が示されたのであつた。 また最年末頃からの経済 でのやり方にも同じやう たか撃があつたことを人々 とはよく記憶してゐるであ が はよく記憶してゐるであ が ちょう で巨きな計畫と燃

検討をれ

思ふのである。 かもなほ不満を ある の配慮をも含めて大 の配慮をも含めて大 の配慮をも含めて大

本はこれと並行して今日の 本はこれと並行して今日の 本側起債市場梗窓の影響に よる以外に日本側の對滿要 水たる特豪類の激減が心理 的に重なる影響を與へてゐ 事情を考慮し の他食用雜穀の滑達を関 の他食用雜穀の滑達を 関 の他食用雜穀の滑達を 関 の他食用雑穀の滑達を の他食用類支大豆、豆粕そ の他食用類支大豆、豆粕そ

選ュースを 選達物増産計畫の遂行上生 選を握る與農合作社の金融 事業は當初の事業資金計畫 一に基づく時局金融到新政策 の一環として當初計畫に對 の一環として當初計畫に對 の一環として當初計畫に對 の一環として當初計畫に對 の一環として當初計畫に對 計 畫 3

金を一切打切る 付を中止する 付を中止する 、現に賣却し得べき農産 物を保有する社員に對し ではその限度に於て資金 貸付を停止する 、事務用建物造業。 、事務用建物造業。 、本育金四千五百萬圓を一 大工資金四千五百萬圓を一 大工資金四千五百萬圓を一 大工資金四千五百萬圓を一 大工資金四千五百萬圓を一 大工資金四千五百萬圓を一 に一段の積極化が要請され 示すものでこれを極力防遏 立造成の見地より貯蓄奨勵 金造成の見地より貯蓄奨勵

き時期、方法を研究すると ものでなく、又低物價政策 ずとしてそれぞれの擔富機 ずとしてそれぞれの擔富機 施を見る運びである

方法を研究するとの個々の増収案についてそれぞれの擔富機 標準規格の決定、勞働者の宿舍建設

加工々場附設東安に畜産農産 る虎林線沿線 る扶助救濟

縣公署に聯合團長會議を開の各開拓團ではこの程密山

▼協足たれことの ▼會員の關心が

舞台が出来てゐた、此處の 人々も久し振りに映畫も見 たらしい、一人岸邊に仕事 着に下駄穿きの人が立つて ゐたので何時來たのか聞い て見た處、正月の一番寒い 頃北海道から直接此處に入 仕事を ともてゐるとか言

と逆に借りて来て丁寧に一 街のと逆に借りて来て丁寧に一 真から讀み出した、此處二 傳降計を見ると十六時、まだ 居った。と思つてるたら急に鑑 備 が横渡食つて大きく揺れた 來 のでをかしいと思つて額を 出したら登察のモーターボ 直く横に来てみた、 上に出て見ると目の前には ツ聯の街イグナシャがあり 上流の方には目ざす漠

三十名の日本人が此の奥で 仕事をしてゐるらしい、何 が一番辛いかと聞いたら、 ラデオもなければ新聞も來 ず世間と沒交渉になつてゐ るのが一番辛いと言つてゐ た。全くさうだらう、夏の が、冬になれば外との交通間はまだ船が来るからいい

世界 と は 次 の で か ら 山 か で 来 た の で 少 し は 没 河 で 郷 た ム き を 買 つ で 来 た か ら で 終 日 世 に 本 か っ た い か ら 世 で 終 し て 来 た か ら で 終 日 恒 で 終 こ で 終 日 恒 で 終 こ で 終 日 恒 で が か っ た が り で 暮 し て 来 た か ら 世 次 は 水 際 迄 燃 え て 来 た か ら 世 次 は 水 際 迄 燃 え て 来 で か ら 山 火 事 で な か っ た が 。 策 外 火 の 遺 草 を 喰 で 終 日 煙 で な か っ た が 。 策 外 火 の 進 で を 日 煙 で か ら 山 火 事 で を 日 煙 で を り だ と 言 つ て 屋 に は 板 敷 の の も が 来 た ば か の 世 で と 思 ろ し く な か っ た と 思 ら し く と 言 つ て 屋 に は 板 敷 の の も で と 思 ろ し く で は し な か か ら 山 火 事 に は 板 敷 の で と 思 ろ し く で と こ で と 思 る し く で と 思 る し く で か ら い か と 思 ら し く で 終 日 煙 で か ら 山 火 事 で と ま つ た と 言 つ て 屋 に は 板 敷 の の せ に な な の 進 む か で と 思 ろ し く な か っ た と 言 つ て 屋 に は 板 敷 の の に と 思 ろ し く で と こ で な し な か っ た と 言 つ て 屋 に は 板 敷 の の に と な ら し く で か ら 山 火 事 で と 思 る し く な か っ た と 言 つ て 屋 に は 板 敷 の の に と 吸 ら し く な か っ た と い か ら 山 火 事 で ら は な か っ た と い か ら 山 火 事 で と は な か ら 山 火 事 で と は な か ら に な か ら い か ら がら暑さとアブの爲もあつ がら暑さとアブの爲もあつ がら暑さとアブ退治で 財名が、出るとアブ退治で はい時は甲板にも

立ても時々屋間

高慣買入!!!

3

9

に見 八時四十分、此處が満洲に 芽も未だ出てあない。 に用 於で吾々が行く事の出來る 今日は珍らしく母・P・ 最北端だと思ふと吾身がそ じが午前から午後にかけて 最北端だと思ふと吾身がそ じが午前から午後にかけて と早 今日は漢河溯航最後の日 たのを見ると途中で止めて がっ もやの晴れたあとの猛烈な 度位スリルを感じる様な出 ないも 暑さとアブの為にどうにも 来事でも起らないかと思ふ が 常に甚い、谷間には未だに 決して樂な事でない、谷札 と目 雪や氷が幾つてあて行手に に置む本は一日々々となく 地 を目 雪や氷が幾つてある。近づ なつて來る、仕方ないので 地 かて見ると其の附近は草の 後で難誌を五月號、四月號 十

河の街が見えてゐた。
漢河碼頭前に着いたのが十六時半此處で又黒河を出る時やつた様に艦は大きく一廻轉して官民多數の歡迎を受けて碼頭に無事着いてを受けて碼頭に無事者いて

て十六日愈よ隣途につく。 下りは船脚も速いと言ふので一日の航程も上りの略 信の長距離だ、今日は八時 に漠河殼、七時半碼頭は既 に見送りの人で一杯だつた で子供迄澤山出て来てる た。

其の上流の方には日

十六時四十五分上陸して市 地であり又奥地物産の集合 地であり又奥地物産の集合

壁がおこる、吾々も小旗を かも砕けよとばかり萬歳の かも砕けよとばかり萬歳の

をのチる

度いのは 例の下 H 度いのは 例の下 H する街史を見て行せ で大體の目的は達ね

既な気かする、毎日の事なで大體の目的は達せられるで大體の目的は達せられるで大體の目的は達せられるで大體の目的は達せられる。 「火の山」 すだ、後は碇泊、 「火の山」 すだ、後は碇泊、 「火の山」 すだ、後は碇泊、 で大體の目的は達せられる

大日間に

電話③三六八七番地

新京崇智路 電路③一六〇五番 児 利





は武騎盆を刺し、下半期は一造に一般社會では平常御世一年を二期に分けて上半期一歳未除夜の鐘のひょき終る一

のご謙遜

**法野のところに御中元、御** 

の額面高たるやしてころであらう

り、その他に商品祭税とで以て印課税が五銭からを受取證を設行した形

とゝ形す

は本當のサービュれてをるから、

百貨店

H

の賣上

三〇〇圓

におりては、 はいかりの贈物をしておりの強いをいいます。 これに使はれる贈物に付てどんなものが多を利用できれてあるが、新京の各ですが、 はいがりの贈物をしているとその最高トップを切るとその最高トップを切るとその最高トップを切るとその最高トップを切るとその最高トップを切るとその最高トップを切るとその最高トップを切るといると

京の某々デバートに於ては 所品券一日の賣上高は二千 脚から三千圓、評園に高としては五圓、十圓は稀で三十 圓といふところが最も多く 出る、これに付ての批判は 現も角としてこの商品券に 付ての話を某支配人中野氏

が少い、本ものがあり、その設 には金利のといふものがありまして、ころに業し会がの、現在もの所に供託しなけれ が少い、楽に現代のやうな時に供託しなけれ が少い、楽に現代のやうな難しないが は金利の数から見れて、さま をころに業しみがありまして、さま は金利の数から見れて、さま のでしまる自分の家の品物を が少いが現在もと のからりまして、さま のがありまして、さま のがある。 では金利の数から見れいが のから見て利益 のがある。 では金利の数から見て利益 のがある。 では金利の数から見て利益 のがある。 では金の所のかられて、さま のがある。 では金の所のでいる。 のがある。 では金の所のでいる。 のがある。 では金の所のでいる。 のでは金の所のでいる。 のでは金の所のでいる。 のでは金の所のでいる。 のでは金の所のできないがある。 では金の所のでいる。 のでは金の所のできないがある。 では金の所のできないがある。 では金の所のできないがある。 では金の所のできないがある。 では金の所のできないがある。 では金の所のできないがある。 では金の所のできないがある。 では金の所のできないが。 のできないが、 のでが、 のでが、 のできないが、 のでが、 の

です、併しさらいかも分らないのです、併しさらいふ見方でです、併しさらいふ見方でで養行して行かないと、他迄おが強に付されて不然のです、商品預能といふ考方のところは資利には一個様の規程はです。 現間は凡そ五十日間位には商場際に付が強行されて何敗をは高規器に付って来るのです。 現間は凡そ五十日間位には商場際に付 が存離いのです、商品をは付ける。 が有難いのです、商品をは付ける。 が有難いのです、商品をは付ける。 がは、一日間の企どれるがら定ける。 は、一日間の企どれるが、 のでする。 の

よっと

山口

市内の治安は一切

かなか流れません、 少し位の汗が出てもな

神を重ねてたたみ、頂む

リカー リカー リカー リカー リカー アラシス 警察官に任せ リカー アランス と 古代文化 の 殿堂には手をつける どころか、 獨軍の 歩哨 を立て 2 目 からこれを 擁護するといふ有様な ので、「ドイツの野蟹 主義を信じてゐたのは 自選ひだつた」といふ 反省が米國民間に非常 に 太平洋問題が うるさくなつて、いさ 2 から 2 たった とか、 特に 太平洋問題が うるさくなつて、いさ 2 から 2 たった とか、 特に 大平洋問題が 5 なった とか、 特に 大平洋問題が 5 なった とか、 特に 大平洋問題が 5 なった とい から 2 なって いき 2 から 2 なって いき 2 から 2 なって いき 2 から 2 なって とい から 2 なって 2 なって

て世界史上、あらゆる て世界史上、あらゆる で世界史上、あらゆる

ノメリカが参戦

届平に見えますし、額をあまり白くするとおでこに見え、 頻から額を白くすると た、 頻から額を白くすると 下ぶくれに見えます、白粉 を鐘る時唇や眉毛を塗らな いやうに注意することです 終つたら乾いた牡丹刷毛か 般脂綿で輕く壓へて水分を 表り、バフに極少量の粉白 大り、バフに極少量の粉白

はます、揉んだりこすつたり りた ます、揉んだりこすつたり りた ます、揉んだりこすつたり りつけ刷毛洗ひをします洗つ なたらよく清水でゆすぎます せんらよく清水でゆすぎます まな か 気を除きます

はす南カフスだけに煮たのりをつけます。煮のりは一合の水に對し茶匙三杯位のコンスターチを入れて煮ま

になつた後でオリーブ油

けて撫でておき

意味で最も强い國と戦等する

「など、質に此の間が

が送など、質に此の間が

が対など、質に此の間が

の事情をよく物語つて

眉墨と口紅で最後

その部分に今度は生の

り再ひ乾かし、

きでもの

は生っをとかし入れますと白濁液となります。 もみよこみましたら板上とり動画面ともも除分の水とのりをこすり落します。

んとしてゐる、

ろではないといふのがある

1

参戦どころ

カの

肚か

正らせ、脂肪の多い鼻の側でます、次に良質のコールドクリーム(なるべく植物性のもの)を耳搔き一つ位掌にとり、雨手の掌と指:

## す罪

### 東亜建設の大業完遂のため、東亜建設の大業完遂のため、民は勢ひ物資の不足、或は民は勢ひ物資の不足、或は民は勢ひ物資の不足、或は民は勢ひ物資の不足、或は民は勢ひ物資の不足、或は民は勢ひ物資の不足、或はたき所に於ては全く無いとた。現象を來さんとするに、然ること」なりました。然の場所ではこれの對應思なること」なりました。然の 制經濟を紊すもの

で、先方に乗じられること い、弦に公定機格十銭の品 い、弦に公定機格十銭の品 とのないやう、又、乗じること とのないやうにして戴きた で減多に他を探しても 「不足で減多に他を探しても にれは是非手に入れたい、 たれは是非手に入れたい、 たた。

り得る素地がどれだけ出来るか、といふことに疑問を有つのであります、時に依有つのであります、時に依奈心の強い婦人になると公定價格の一圓の品物を買ひたらも七十銭で手に入れたとか、或は六十銭であつた 特に婦人達が大いに堅持し で消費、物質、價格の準備 は婦人からといふことを大 いに張調し、知らず(への のざるやう各人が自覺して り得る素地がどれだけ出來らぬけ切つた經濟觀念を造に於いて、自由主義觀念を造 間の外出には脂とりでとった後、ニシングクリーでも数になりますからして白粉を軽く拭きとりら脱脂綿がガレゼを用意ら脱脂綿がガレゼを用意とりなった。カーではどって白粉を軽く拭きとりてバファームをうするりいてバファームをうするりいてバファームをでする。 

際は肌色のなるべく濃い色 い海岸や山間へお出かけの い海岸や山間へお出かけの なが保てます、紫外線の強 ない海岸や山間へお出かけの ない海岸や山間へお出かけの 家に居られる方で したら

の水白粉を用ひますと陽焼 にはなりません、海水浴をなって はなりません、海水浴をなって さる方は海にお入りになって から、チョコレート色の水 自粉を思ひ切り濃く塗つて お入りになると眞黒になら ないで汚みます、海からお 上りになつたら直ぐ清水でなさることをお忘れなきやなさることをお忘れなきや

が秘訣があります。 りながら拭きますと、クリーニングに出したと同 じ線に仕上ります を配刷毛洗ひして、よくゆ しで回毛洗ひして、よくゆ 

北て響油、砂糖少量を追加 し弱火で二十分間煮しめま す、あなごは閉いて適宜に 切り、酒と響油とを等分に 混ぜた中に二十分間位つけ てから串に刺し、白焼した 後二三度つけ汁を塗り乍ら

は見りの化粧 第一に"長保ち"を考へる あとからあとか をとし石鹼が残らないやう ら際、なく湧い にあとを清水でよく洗つて て來る汗に折角 その盤十分か二十分位待ち らになつたり、自然と脂肪が出て來ますか 自然と脂肪が出て來ますか 自然と脂肪が出て來ますか 自然と脂肪が出て來ますか はつたり、鬼に るやうにしてその脂肪を行

紅をさし、肌色の水白粉をでいた部分は白粉も濃くなりますからその心持で濃淡をつけて行きます、次に頻

まずがし とこれ ララ

たかいうちに供します なご、干瓢、椎聋をも一緒ものを御飯の上からふりあものを御飯の上からふりあものを御飯の上からふりある。 ダローンピース 続、比目魚の炒 点にセン

番三五五五33話電

さく切り擂鉢に入れてよさく切り擂鉢に入れてよって沙煮にします、鍋に 目魚を入れ箸で絶えずか 目魚を入れ箸で絶えずか 目魚を入れ箸で絶えずか は大匙一杯のと食紅少 が大型一杯のします、鍋に がって湯立つた時比 はたりが煮の無くな がって湯で砂糖と鹽

横に置き上下に研き のハガキの上に数を

が滑かだからです。 を表にして下さい、面 を表にして下さい、面

かけますかけますかけます。

庭の婦人

家

モ庭

15

13

力

き方

た胸、右胸の側では、肩をかけて出来上ります に裾をかけて出来上ります アイロンをかける時に常

情間 里 な 手入 れ 鼻やあごのあたりに黒いボッボッとした、押すと白い脂肪の固りのやうなものが脂肪の固りのやうなものが脂肪の固ってマッサーブ油か棒油を塗つてマッサージするとたが出来ます されて来ます、すると確ったる。でする費用と金利とない、そこで商品祭はれないかも知れる。 (事がありません 一枚の商品券のと紙二級 鏡鏡音を には知と愛





落ちない工夫 と眉墨





素を迅速に

直流步電

結用

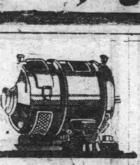




商官學 壹等 貨

金牌受飯 用達

新京東二條通り三六 錦屋旗染 (京染部) 電話3 内III 2大番



直交流流 軍納入品 械用

東京電機製造株式牽社

醫樂所 東京南京橋温橋町三丁月五番地 電話京旅 55 56 56 58 5 6 6 6 7 7 8 9 1 7 8 9 1 7 8 9 1 7 8 9 1 7 8 9 1 7 8 9 1 7 8 9 1 7 8 9 1 7 8 9 1 7 8 9 1 7 8 9 1 8

各內蛇竹食滿南台藥 國外皮材品洲支灣材 玩青製竹雜特特各 具果品帶貨產產產種 海、

陸物產直輸入商

東亞物產洋行

支 本店店

新京電話(2)一

一九八八香

全衛に誇る 新京ミルクプラン

エエ 塗

二ノ三町松老市別特京新

社會式株

(4)——二六(3)表代話章 林吉·天泰·迪大 斯堡出

マ拠麺起工場

あ

3

即副部長 満洲帝國協和 新川帝國協和

トモ夫

ス(新京)告知事項、

九九、〇〇 (新京 九九、〇〇 (新京 五〇 (新京 東京 大九、〇〇 (新京 五〇 (新京 大九、〇〇 (新京

曲、マネーは、東京ウセ、

虎造

どん 



### 明日に迫つた。巡閲使 劇團猛稽古

マ……成果については注目を拂はれてゐるがどんな稽古をしてゐるかと此の稽古ぶりを……なれてゐる、之は大同劇團が取つ組む初の大物であり、ものがものだけに上演の……△と政題しで飜案上演することは旣報したが、二十六日からの協和會館に於ける公……△と政題しで飜案上演することは旣報したが、二十六日からの協和會館に於ける公……△ Δ.....

作ら死んだ友田や東屋の 思ひ出話を語つて臭れた が熱心にテキスト片手に が熱心にテキスト片手に (賞に\*\*)演 大同劇團愈よ本格的

型役は市長ドムハノーフ に発固、その妻アツナ (安太々)張麗苦、その 娘マリヤ(鳳鶯)に演子 ドブチンスキイ(荘福鉄) に幹部俳優王三一、ボブ に対るのでは緊監督) に選手 (賃後察官:劉達夫)に

もるまいが皆演員は熟心でも とそれら、賞金を出す事に とたと言ふ、そのせいでも したと言ふ、そのせいでも 響から受ける感動の仕方が | の女の肉體的な醜さを敷い | な大きなテーマーを以て全いかと思ふ、それは此の映 | 快な外國の女に對して日本 | 名「民族の祭典」が示す様なものが出來上るのではな | の捉へ方や、牝鹿の様に軽 | 錄映畫であるに留まらず題 | の表とはヒットラーの表情 | らう恵も角單なる一つの記この映畫の批評は誰がやつ | 十人が十人殆んど同じであ | て見たりするに過ぎぬであ

女優の馬雪湾は錠前屋の女 房と言ふ輕い役でつき合つ てる程度大同劇團では個性 に應じて交替的に主演させ 二浦 洋平氏に感想 較べれば中學生と小學生と小學 生の遠ひ方ですね、而しまの遠ひ方ですれ、而したなこと)皆うまいですねなこと)皆うまいですればたならない部分もあるのはならない部分もあるのはならない部分もあるのはたづ脱級し勝な演技の方向を軌道に乗せる演技の方向を軌道に乗せる演技の方向を軌道に乗せる演技の方に、稽古は

〇、〇一(奉天)經濟市況 〇、〇一(奉天)経濟市況 〇、〇一(奉天)経濟市況 の、〇一(奉天)経済市況 の、〇一(奉天)経済市況 の、〇一(奉天)経済市況 の、〇一(奉天)経済市況 の、〇一(奉天)経済市況

義光國民優級學校

ところです した語ついて来出

つと本格的になつて来

競技の勝敗 に整つた選

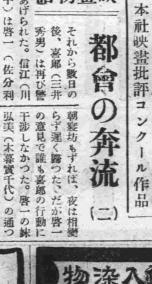
題を別として職業劇團として職業劇画として職業といいないできないできないできないできないできない。

語物畫映

でれから数日の にれから数日の

察にあげられた。信江(川 信)と共に警視廳に直江係 長(笠智楽)を訪れた。 信江は打悄れて直江係長 の前に坐つてゐた。 らず遅く歸つたこだが啓一 の意見で誰も喜郎の行動に 工渉しなかつた。啓一の妹 以美(木暮賞千代)の通つ

味覚に 動かった





明催されたらどんなものに ものを見るにつけ豫定通り ものを見るにつけ豫定通り が

日滿商事石炭指定販賣店

東亞ペイント諸建築材料

各國羅紗洋服附屬品一式

校兒童、砲

子四百米リレーで断

月品扱取















(日 曜 木)

本×××、邊で「巡問 では、と光づ時代を民國 では、大変等に苦心を重ね時代を民國 では、大変等に苦心を重ね時代を民國 を調べるために時代考證、衣 を調べるために時代考證、衣 を調べるために時代考證、衣 を調べるために時代考證、衣 を調べるために時代考證 を調べるために時代考證 を調べるために時代考證 を調べるために時代考證 を調べるために時代考證 を調べるために時代考證 を調べるために時代考證 を調べるために時代考證 を調べるためになるなめに表述を を記しらべの とたづ時代を民國 だな。 を調べるために時代考證 とと、でも、 を記しらべの は、 とと、 という。 といる。 とい。 といる。 とい。 といる。 とい。 といる。 といる。 といる。 といる。 といる。 といる。 といる。 といる。 といる。 とい。 とい。

ゴオ 「檢察官」に付て ゴッ Ø .....

「最も恐ろしい速を捕れた驚かす笑―それは限かれた驚かす笑―それは限かれをが、死人であのれたが、死人であのかないがく、これを驚かす笑―それは限かながない。これを驚かす笑―それは限かない。 ルイに従へば 高い風明朝である。 割は、アンドレイ・ペエ 方官吏の生活を描いた、割は、アンドレイ・ペエ 方官吏の生活を描いた、 でも、 で物議を惹起したが、幸 ニコライー世陛下の庇護 のほ、陽の目をみて上演 された。皇帝は「いや、 今夜程、朕は笑つたこと 高い諷刺劇である。 コオゴリは、これに對 をおらつたのでござい、 ます」と、實に勇敢な答 へ方をしたといぶ逸話さ へ残してゐる日く付の作

又、當時、この作品を 相版する職工たちがゲラ 組版する職工たちがゲラ しい存在だつたに選ひな 後にとつて、ゲラゲラ

様れた作品を書きながら 多くその最後の日は不幸 の先輩たるプウシキンも

當時のロシャの作家は

いふ社會性、政治性とい なものは、まづゴオゴリ によつて提唱され實行さ れた。このゴオゴリによ つて最初に結ばれた藝術 と政治との綱ーーそして 最もその態度を强く文學 の中に示した作品が「檢 失はねばなら な決闘の弾丸

有效適切なる處置を講じて 有效適切なる處置を講じて

おかないと取返しのつかない事になる恐れがある…」信江は署長に唯頭を下げるばがりだつた。その夜啓一の家で主人のその夜啓一の家で主人の表した。

から、路

ら案外優しいんで吃 とんがね。不良少年 のなこわい者かと思

だんなつまらない くよく観でみれば 人の為にでなく、 その人間の己れの これの でなく、 との味びが意味ふ

かくて顔こそは であり、これは見 であり、これは見 をうによつては、 そうによつては、

期れてゐた親しい 夏の匂が青くさく 本やうになると、気 るやうになると、気

を確が続して、このだ。で、このだ。で、このだ。で、こ

男の顔、女の顔 老人の顔、中年の 顔、青年の顔、少女の顔 等々、限りなき顔 である…… 其他、悪人、善

か 額を、朝夕郷す所のない理を 地域で、前夕郷す所のない理を 地域で、前夕鏡に向 で、前夕鏡に向するである、 を厳情によいをを また感情に取ける また感情に取ける を修養すべ

とんでもない自分の錯覺 をわらひながら、直ぐある き出してゐた。 講洲へ來て足掛け五年に なるが、未だ曾つてこの鳥 の鳴慶を耳にしたことはな

標準線を確立、

10

內三

服日

に間

ての

伝を、展衝的回二錠食後

期間に淋筋膜性となるものは三〇一五〇 一衝撃療法と群せられる。アルバジルの 円し、一日水髭宛を三日服用せしめる方

服日

に間

ての

服日

ての

れてゐることが分

一人職のほど而白いも で同一のものがあり、決して同じものがな の顔と躍があり、決して同じものがな の顔と躍が続じていからだ。よくま 共ッウの人間とい ふものが地キウ上 ても、この一つ一いからだ。よくま 共ッウの人間とい ふものが地キウ上 ても、この一つ一の人類幾十億の顔 つの異つた持味こといふ顔を、これ そは、永久に個性 中でといふ顔を、これ そは、永久に個性 中でといふ顔を、これ そは、永久に個性 中でとの人類後十億の顔 つの異つた持味ことにある。

人、小人、大膽、 頭の顔も、ある程 この顔も、ある程

新泉ばかりではく、東邊 前の山の中でも、うぐひす だのほととぎずだのの、お が、カッコウの鳴壁はつい たのほととぎずだのの、お

槽耳適

・扁桃腺炎・丹毒・扁桃腺炎・丹毒

無式山之内薬品商会 ※天市記権町二番 ※天市記権町二番

関田川のと遠ふところは 関田川のと遠ふところは 関田川のと遠ふところは を根の上に席が作つてあっ ところだ、もの珍らしさか ところだ、もの珍らしさか ところだ、もの珍らしさか ところだ、もの珍らしさか ところだ。もの珍らしさか ところだ。もの珍らしさか ところだ。もの珍らしさか ところだ。もの珍らしさか

本して居なかつたが、タイ をして居なかつたが、タイ をうに思はれた。 をうに思はれた。 をうに思はれた。 をあやらに美しい屋外で が、たがりしてゐるロシャ人 をは如何にもその自然の中 に溶けこんで居る。

野ッ原の眞中へもつていた。 な建物が横柄に、どかりと あぐらをかき、その周園に はいろし、の新しい工事の おこされでゐるのが眺められた。 れた。 れた。

思った。

離をもつ、このとびとびの 風景を超えて、朝もやの中 に、忠霊塔の尖端が、びし りと突つ立てゐた。 特であつた。 おやと思つた。 おやと思つた。 この鳴摩を聞いたのである。 しかし、氣のせいだらうと

るると、貞節を崩した女を 僧むやうな腹立たしさを覺 えた、それは一種の嫉妬に

☆對症療法から 病源の掃滅へ/ 根治は到底不可能と たるもので、内服せるものは腸内より し直ちに體液と共に全組織内を循環し られ、治療の手の及ばなかつた尿道側 られ、治療の手の及ばなかつた尿道側 られ、治療の手の及ばなかつた尿道側 られ、治療の手の及ばなかつた尿道側 られ、治療の手の及ばなかった尿道側 の抵抗も無く浸透し、分泌物、疾 類期に消退せしめ、而も再發の懸念を 利である。

を監 理を食べたらう たで居

へ或ひはピールを飲んには半裸の男が料が には半裸の男が料が には半裸の男が料が

1、かつこう鳥南湖の近くの知人の家から南湖の近くの知人の家から南湖の近くの知人の家から

定の加き會で見ざる根原的な作用を育する 構載し、淋疾及び化膿性諸疾患治療の調料 由來、治療薬に對する江湖の信頼と博士 である。即ち、研究主實驗が十分に且つ凡 である。即ち、研究主實驗が十分に且つ凡 である。即ち、研究主實驗が十分に且つ凡 である。即ち、研究主實驗が十分に且つ凡 をの力價に安全な保健が與へられるからで アルバジルは周知の如く、日本に於ける京 である。

まり、疼痛が消え苦痛が去り、氣分爽快ー服用效果が目に見えて顯はれ、分泌物が止

子化學療法劑の先驅的製工を表表される臨床治験例を発表される臨床治験例を

から行はれる結果。

である。

たが営めに、侵性淋疾の生態する遠に対し、表面

| 久振りに眺めた河た、L

日露南國語で書かれたレーの中にある。

氣船に乗っ しく附纒ふれ

乗った。 ・に乗らないかと喧いがので居るやうた蒸

· 早い朝がねむたげであ

見た。この難莫とした風景の中で、この鳥か鳴くと云ふことが、不思議でならなかつた。

私達は再び傷型の自動車 な害橋を渡つてやタイスカヤの省に入ると大分日本 が変も振らになって、裏

太陽島と言つて居る處は 島ではなく、實は對岸なの だと、案内者に開いた。 蒸汽船の上から、海水着 ひは飛沫をあげて居るのが 見える。 ハルピンに住んで居る人 を養やましく感じた。

騒く女の

が を記すの疲れで倶樂部に はぐつすりと寝込んでしま これるまで私

哈爾濱

牡丹江

3

をこには幾分變色した大型小型の原稿紙がぎつしりとつまつてるた。昔の私であつたら見ただけでそれこまつケションであつた。昔の私であったらと障さうなりがであったらと障さうない。佐藤春夫、里見でもない。佐藤春夫、里見でもない。佐藤春夫、里見でもない。佐藤春夫、里見でもない。佐藤春夫、里見でもない。佐藤春夫、里見でもない。佐藤春夫、里見でもない。佐藤春夫、里見でもない。佐藤春夫、里見でもない。佐藤春夫、里見でもない。佐藤春夫、里見でもない。佐藤春夫、里見でもない。佐藤春夫、里見でもない。佐藤春夫、里見でもない。 谷時潤一郎、島崎藤

藤 は勢ひこんで導ねた。日さ

をいかと思ふのですが、菊 地質といふ男はその點が必なとして 地質といふ男はその點が、菊 ないかと思ふのですが、菊 ないかと思ふのですが、菊 ないかと思ふのですが、菊 ないかと思ふのですが、菊 ないかと思ふのですが、菊 かのであるま を養方の知人に渡しましたと、 たっと、 ですか、 こつそり持出した んですよ、だからあんまり 大きな 撃で 言へないんで かつてゐるかも知れません のが―― をひつ

を は立止つて限をあげて 私は立止つて限をあげて

つをソ 0 のあひだに、いくつかの叩きつぶしたやうな苦力小屋が断在し、そこからは青いが断在し、そこからは青いい景色の中に、若い逞しいい景色の中に、若い逞しいい景色の中に、若い逞しいい景色のである。

私達のやらに、そのやら な有様を見て美しいと思ひな有様を見て美しいと思ひな有様を見て美しいと思ひれだけ間化しきれないものがまだまだ残つてある。 食事はヨットクラブでと言ふ話だつたがクラブでとっ、ボートの監在する河を た。

食事を済ますと、ぐつたり疲れが出て來て、ボートり疲れが出て來て、ボートに乗る元氣もなくなつてしまつたので、演奏前の體を休めればと、今度は電車に休めればと、今度は電車に

北村識次郎
「文鑑八月號で北村識次郎
「文鑑八月號で北村識次郎
「文鑑八月號で北村識次郎
「文鑑八月號で北村識次郎
「大公一家の中に誘ひ込まれる、この指げである。その主人公に「しば〈「満系知識層と信いへなかつた」といふやうな人間なのである。と言へる。その意味で、これはひろく讀まれてもしかしおした、労働者などとなると、事信は日標としいいのだと思ふのである。と言へる。その意味で、これはひろく讀まれてもいいのだと思ふのである。と言へる。その意味で、これはひろく讀まれてとしいいのだと思ふのである。と言へる。その意味で、これはひろく讀まれてもしいいのだと思ふのである。それ以上の事だけで良いのだと思ふのである。それ以上の事だけで良いのだと思ふのである。それ以上の事だけで良いのだと思ふのである。(御垣衛士)

原稿の戸籍はかくて轉々とする。動機の善器を間は 数十篇の原稿はノコー海 をわたつて、そして今は私 をわたつて、そして今は私 たりに掲載されたりに掲載され が、頭の退歩 は大方そのメ

されて讚みふけての肉筆に柄に

コ

E

ts

ALB 80

Hit Hit Mark to the state of th

商卸門専紙リち 三四五③雷

しい効果があります。そしてくは、食慾を進める爲には素ばら 長前に一杯の赤玉ボ 术巫术

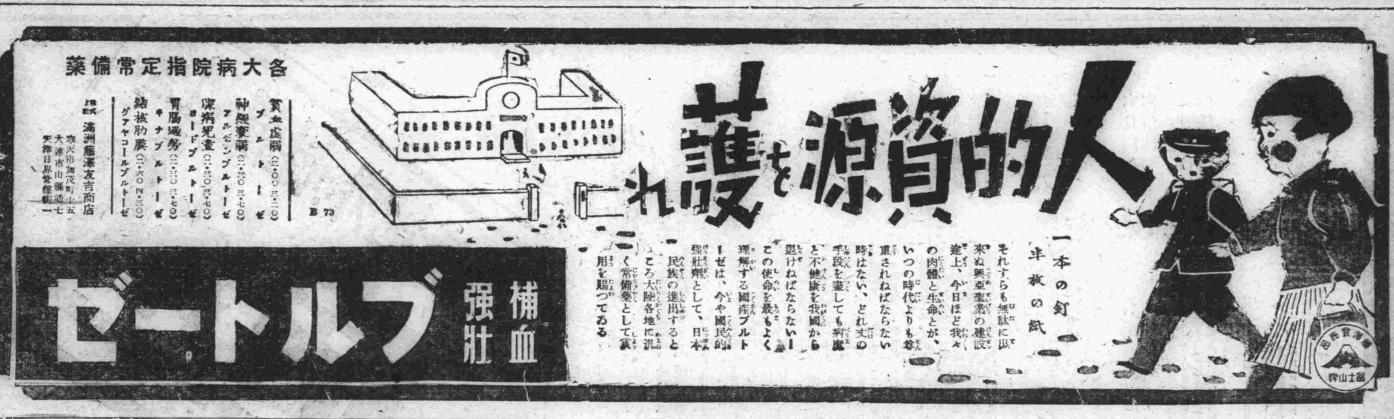




東族にあり孫明時は 東族にあり孫明時は 東族にあり孫明時は

(日 麻 木)

松本路域與特別的	三谷醫 高級果實施10人 大的自動。他語(ET)四人六九章、	大学 大学 新 京 京 京 京 京 京 京 京 京 京 京 京 京 京 京 京 京 京	清 田 醫 院 類 田 醫 院	花物病・肛門病科薬門。 ・ 一	大条響院 院	吉利外 外科 外外科 外外科 整形外科	上 山 醫 院 院 院 院 院	伊藤	長 尚 経 院 院	度	與 安病 是養體 要 大海 院 是養體 要 大海 院	深町線系線開線系列成線線線線線の開発が開発を開発を開発を開発を開発を開発を開発を開発を開発した。	大島間東 電域のDTIUHO会	小兒 科・レントゲン科外 科・産婦 人科	回都醫
知識則	中山醫院院	利 李 眼 科	· 眼 科	類 山 醫 院 院	康 德 等 院 院 等 院 等	神津醫院	ル (人物 (本) (三) 五十の九番 (三) 五十の九番 (三) 五十の九番 (三) 五十の九番	田島 島 院院 院 によっている。	\$\$ 木病院	產婦 人科	中野醫院	新入 株 と	大見科・内科・花柳病科 ** 佐藤(II) - 五人の者 ** 佐藤(II) - 五人の者	折息 醫院 電話以及可以及	院 案 内
<b>芝草歯科醫院</b>	華洋齒科醫院	ヤナギ歯科	11 本の	山口齒科醫院	佐野 協 科	林齒科	早川歯科を表にいいませんで表	山 崎 増 科 第二編版 元 日 女 田 前 (目)百八〇田春 第二編版 元 日 女 田 前 (目)百八〇田春	齒科	大成 野路 新来 学 世帯 た	及 并 <b>路</b> 院	小見科専門 長 長 経 経 経 経 経 経 経 経 経 を 表 と を 表 を 表 を あ で あ の の の の の の の の の の の の の	大 田 <b>路</b> 院 院	小兒科	淌洲國通信社







畾



鰻かば焼、

ばん共き

# 算 羊 白 #

喫

下 約八萬枚に達したので滿系下 約八萬枚に達したので滿系下 約八萬枚に達したので滿系市 る事となつた、この報は早くも滿系街に乗んで旱天の 強縮にも似た喜びがどつと 護は一戸世帯に付て一丈三尺とし小麥粉の通帳に基いて記名の購賣店も滿系商店十二軒に限定いよ (一來る八月一日一齊に交付する豫定でこれが準備に萬遺憾なきを期 せられてゐる、尚一丈三尺

ら 防衛訓練下の去る十六日よ の く引續いて純綿布の切容制 の く引續いて純綿布の切容制 による配給を實施すること た による配給を實施すること となり全市各町會では目下 となり全市各町會では目下

都の紋章」 當選者 高利賀酒 都の紋章」 當選者 高利賀酒 さんほか 佳作五氏に對する 賞金授與式は二十四日午後 二時から市公署第一會議室 で舉行舟田庶務科長から各

裁きの庭から

簡閱點呼參加

罪の青年更生誓ふ

市紋賞命授與式

に授與された「寫眞は授

縣公署財務科吏員香川武美前より札幌市生れ、元長春前より札幌市生れ、元長春

9

## 生部大臣等日満顯官七百餘名列席生部念事業の一つととて満洲帝國 けふ創立八周年の住き日

## 國本奠定詔

整河で道義國家建設に日夜 整河で道義國家建設に日夜 大阪で首都の精鋭會員約百名 大阪で首都の特別を表

血の一滴にも等しいガソリー として自家用自動車を断然 として自家用自動車を断然 はじめ國都の名士間に唱へ られてゐた矢先き五月上旬 お京中央放送局では流しの が京中央放送局では流しの

綿布切符制實施

一着分を割當

自家用 を 如く都下青年に檄を飛ばし 無勢を上げつふあるがこれ 等著き熟血の烽火は國都を 基點としてやがて全滿青年 の魂を揺り動し來るべき日 全滿青年打つて一丸とする 大同團結を目指し而して革 されるものである

署に手配して搜索してゐる ひ出たもので、同係では各 では各

女子

滿俱野球戰

北海道から捜査願

遊風の院に死す二十四日午前一時頃三笠町四,四満人料理店抱へ妓女四,四満人料理店抱へ妓女と読頭のいち就続した一貫二十五、六歳前後の内地人が曠方になつて苦悶をはしめ間もなく絶命した、中にあ間もなく絶命した、中

てゐるが、電々本社でも四人 大乗りの箱馬車五臺を購入 大乗りの箱馬車五臺を購入 方を依賴した、この自家用 に苦心の設計が盛られてを り、來月中旬ごろの出来上 り、來月中旬ごろの出来上 ち、來月中旬ごろの出来上 なっを待つて廣瀬總裁以下各 第後にも利用させ大いに滿洲

には 年筆一本、小錢二圓ばかり で住所氏名不群で原因は判 然としないが厭世服毒自殺 とみられてゐる

滿洲場所九日

目

央通署より係官出張檢視取

となつた 横領犯香川は 大大的縣公署に動務中十月 一大大的縣公署に動務中十月 一大大的。 一大, 一大大的。 一大的。 一大大的。 一大

東京市から贈られる上野動物園東京市から贈られる上野動物園を入月の中国新京へ来て均ちやんかっるが、その前に紙上からこ

らこの様に御目見得致しゃん、纏ちゃんのお目に物風のライオンの仔二頭物風のライオンの仔二頭

行機にて一路東上の豫定 富田興銀總裁は令嬢結婚式 高田興銀總裁は令嬢結婚式

有名な映畫ではあり、ロへではあつたが、新築のあの 厳い映寫室はギッシリすし おのの盛況を呈した、さう して定刻四時映寫が始めら

島、稻田(滿)小林原-北野の (満) 小林 - 永野 で開始、結局四A二で満倶球場において電々先攻 満倶球場において電々先攻 満県球場において電々先攻 で開始、結局四A二で満倶 電々敗る

日割により満洲國、滿俱と ・ 本は兒玉公園球場で左の ・ 本は兒玉公園球場で左の ・ 四時) 廿六日鮮鐵對滿洲國 ・ 四時) 廿六日鮮鐵對滿洲國 ・ 四時) 廿六日鮮鐵對滿洲國 \*\*土用も本格的 しは廃止 控を

患者收容所を

當分續く暑さ×× 本線住は二十四日正午近く 水銀柱は二十四日正午近く には廿八度五にハネ上り三 時頃には二十三日の最高氣

寫真は國務院にてタイピスト等と話合ふ一行) 興新京一等の映畫を観覧して一日の日程を終へ 率のもとに宮廷府をはじめ闕東軍、忠震塔等を 本のもとに宮廷府をはじめ闕東軍、忠震塔等を 本のもとに宮廷府をはじめ闕東軍、忠震塔等を のもとに宮廷府をはじめ闕東軍、忠震塔等を

深疑似患者、同居者の收容 四 が班五十班を全市に繰出し 本 が班五十班を全市に繰出し 本 で大童になつてゐるが、容 と で大童になつてゐるが、容 と で決疑似患者、同居者の收容 四 が近五十野になってゐるが、容 と



「誰方もおいでにならなく とも四時カツキリに開始い たします」と案内状にあっ た通りに實行、こゝらが甘 粕式のピリッとしたところ それがお客さんに反映した んだらう

メガネの御相談は何でも は如何なる眼鏡でも調製します度の調製機を なる眼鏡でも調製します度の調製機 なる眼鏡でも調製します度の調製機 立 病 院 病 院 店の鏡眼双と鏡眼

1





通版の米屋

眉青年

る旨通告した

の紛失等による不正事件な 自動車事故 二十四 でも満起されるため市会署 日午後三時二十分項實清路 商工科では廿四日各區事務 京タク念 海 鵬(三六)運 所を通じて全市の業者に對 博一三六一號車が北安路と 大 し通帳の預りを嚴重禁止す 明倫衡の十字路に差しかか る旨通告した つた際側面から自轉車でや なほ短婚葬祭等人生の最 つて來た赤十字証使用人安 大行事、式典に對しては 東生れ張鳳山ハー九ンを路上 大行事、式典に對しては 東生れ張鳳山ハー九ンを路上 で 東生れ張鳳山ハーカンを路上 に

申込所 長崎方 電子一四一四

**佐務會計** 副 會長 會長 松長

志 四初 日 日 及 目